

# 研修費（志誠会）出張報告書

令和 2 年 10 月 30 日

氏名 小熊坂孝司	研修会等題名 清溪セミナー
期間 令和 2 年 10 月 21 日から 令和 2 年 10 月 22 日まで	研修会等会場（市区町村名） 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-1 日本青年館 ホテル 8F カンファレンスルーム

## 研修会概要

1 日目

講義 I 13 : 00 ~ 15 : 00

少子化対策～自治体からの検証・提言 講師：泉房穂氏（明石市長）

講義 II 15 : 20 ~ 17 : 40

少子化、地方創生、地域社会の連携 講師：杉岡秀紀氏（福知山大学准教授）

2 日目

講義 III 9 : 00 ~ 11 : 00

With コロナの時代を見据えて パネリスト 中川智子氏（宝塚市長）

パネリスト ヒロアキ・アンソニー氏

コーディネーター/コメンテーター 福岡政行先生（東北福祉大学特任教授）

講義 IV 11 : 15 ~ 12 : 30

新型コロナ感染拡大と今後の地域経済 講師：吉原 毅氏（城南信用金庫顧問）

講義 V 14 : 00 ~ 15 : 15

民主主義とメディア～新型コロナ禍の中で～ 講師：望月衣子氏（東京新聞記者）

## 意見等

本市の少子化や人口減少が深刻化する増す中、市民の声に向き合い、本市の取り

組みや、議会の権限を最大限に機能させ、住民の役に立つ機関を目指して議会改革に取り組んでいかなければならない。

講師 吉原 毅氏（城南信用金庫顧問）による講義は、実際に、地域経済と向き合ってきた経験を生かした内容は、直面する地域経済の再生に向けた提言には、本市におけるコロナ禍の中での経済を回していくうえで参考になった。

住民主体の地方自治を進めるために

# 第25回 SEIKI SEMINAR 清溪セミナー

2020年10月21日[水]～10月22日[木]

日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム

主催：清溪セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

1日目 10月21日[水]

13:00～15:00 講義 I

## 少子化対策～自治体からの検証・提言

講師：泉房穂氏(明石市長)



東京大学教育学部卒業後、NHKを経て弁護士登録、衆議院議員を経て社会福祉士資格取得。2011年5月現職。「こどもを核としたまちづくり」を掲げ市の人口をV字回復。



聞き手：小林美希氏(ジャーナリスト)

地方の少子化や人口減少が深刻さを増す中、明石市が取り組んできた子育て支援や保育士支援、待機児童問題の解消や子育て環境の改善など先進事例をお聞きし、次世代へ希望をつなぐための自治体運営を伺う。

16:30

15:20～17:40 講義 II-1

## 少子化、地方創生、地域社会の連携

講師：杉岡秀紀氏(福知山公立大学地域経営学部准教授)



専門は公共政策、地方自治。内閣官房行政改革推進本部事務局参事官付、京都府立大学公共政策学部講師を経て2016年から現職。

新型コロナウィルスの混乱が続く一方で、都市一極集中、通勤ラッシュ、大部屋方式、ハンコ文化、対面授業(会議)、選挙のあり方等、これまでの「常識」を根本から見つめ直す機会にもなっている。働き方のみならず副業・プロボノ・関係人口などを活用したポストコロナ時代の「私」から始まる公共と地域協働のあり方について伺う。

15:20～17:40 講義 II-2

## 住民自治組織が担う地域の未来 —福知山市三和地域協議会の挑戦—

講師：岡部成幸氏(三和地域協議会事務局長)



京都府三和町役場入職。「自治体情報化共同事業」や「新市建設計画」策定等に従事。06年に福知山市に編入後、まちづくり推進課長などを歴任し、定年退職後現職に。

地域住民自治の仕組みを取り入れ、地域生活交通確保、移住・定住促進、地域振興イベント、福知山公立大学連携などに取り組む三和地域協議会の活動を報告。

※新型コロナウィルス感染状況を含めた社会情勢および主催者の都合によりプログラムが変更となる場合がございます。予めご了承ください。

2日目 10月22日[木]

9:00～11:00 講義 III

## パネルディスカッション with コロナの時代を見据えて 「地方からの行政改革、議会改革」

パネリスト

中川智子氏  
(宝塚市長) (予定)

パネリスト

ピアンキ・アンソニー氏  
(犬山市議会前議長)



コーディネーター/コメンテーター  
福岡政行先生(常任講師・東北福祉大学特任教授)

市民の声に向き合い「命を大切に、支え合いのまち」を実現してきた宝塚市の取り組みや、議会の権限を最大限に機能させ、住民の役に立つ機関をめざして議会改革に取り組んできた犬山市の取り組みを伺い、住民との対話、議員同士の討議が「地方行政や議会の改革」に果たす役割を明らかにする。また、本セミナーの常任講師の福岡政行先生には、進行と合わせてコロナ時代の地方議会について提言をいただく。

11:15～12:30 講義 IV

## 新型コロナ感染拡大と今後の地域経済 ～支えあいから再興へ～

講師：吉原毅氏(城南信用金庫顧問・麻布学園理事長)



東日本大震災後、被災地支援を精力的に行くと同時に原発に頼らない安心できる社会を目指して「脱原発」を宣言。17年に全国組織「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」を創設。

新型コロナウィルス感染拡大が深刻な影響を及ぼす中、「人と人をつなぎ、地域を守る」との理念で地域経済と向き合ってきた経験や、未曾有の危機に直面する地域経済の再生に向けた提言を伺う。

12:30～13:50 昼食・全国情報交換会

14:00～15:15 講義 V

## 民主主義とメディア ～新型コロナ渦の中で～

講師：望月衣塑子氏(東京新聞記者)



東京地検特捜部、東京地裁・高裁担当などを経て、社会部遊軍記者として防衛省の武器輸出、軍学共同などをテーマに取材。17年から森友・加計問題取材チームの一員となり、取材をしながら官房長官会見で質問し続ける。

豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」の感染拡大から始まったコロナ禍で、オリパラ開催に固執し続けた安倍政権は自粛要請への対応が遅れ、その後も、アベノマスクなど失策が続く。官邸の「守護神」と言われた黒川弘務・東京高検前検事長の定年延長は、違法状態で閣議決定するというウルトラCをやったのけたが、世論の強い反発を買い、検察庁法改正案は見送りに。賭けマージャン報道で黒川氏は辞任に追い込まれた。97万人の失業者が溢れる中、「火事場泥棒」的な政府の行為など、浮き上がってきた様々な安倍政権の問題に切り込む。

15:15～15:30 閉会式